

令和2年度 京都府南丹高次脳機能障害支援ネットワーク会議・事例検討会
開催要領

1 目 的

高次脳機能障害者に対する支援については、医療、障害福祉、介護、就労、相談支援、行政等様々な関係機関が連携して支援にあたることが重要である。

そこで、これら機関の従事者を対象として、高次脳機能障害者への支援についての理解と認識を深めるとともに、関係機関相互の役割を理解し、京都府南丹圏域における取組状況の情報交換を行うことで、地域における支援体制の充実に向けたネットワークの構築を図る。

2 テ ー マ

「南丹でつくる・つながる高次脳機能障害支援ネットワーク」

3 日 時

令和2年11月30日（月） 午後1時00分～3時00分

4 開催方法

Zoom ミーティングによるオンライン開催

当日はライブ配信での活動報告に加え、事例検討会はブレイクアウトセッションを利用した小グループでの意見交換を行う。

5 対 象 者

高次脳機能障害者への支援に関わる医療機関、障害福祉・介護保険事業所、相談支援機関、就労支援機関等職員、行政関係者等

6 定 員

40名

7 共 催

南丹圏域地域リハビリテーション支援センター

8 内 容

※事務局よりオンライン会議での注意事項の説明

第1部

- (1) 開会挨拶
- (2) 報告「高次脳機能障害支援事業は典型的な地域リハビリテーション～WHOのガイドラインに学ぶ～」
- (3) 報告「南丹圏域における高次脳機能障害者支援状況報告」
- (4) 報告「南丹圏域地域リハビリテーション支援センターにおける活動実績報告」

第2部

- (3) 事例検討会「南丹圏域における高次脳機能障害者支援のためにできること」
 - 1) 事例概要
 - 2) 質疑応答
 - 3) 意見交換
 - 4) まとめ
- (4) 閉会挨拶

9 参加申し込み

別紙をご参照の上、専用フォームまたはE-mailにてお申し込みください。

25日までに会議資料と併せてURL、ミーティングID、パスワードをお送りします。URLよりZoomをダウンロードされるか、ZoomアプリからミーティングID、パスワードを入力してご参加ください。

ネットワーク会議・事例検討会の録画・録音は固くお断りしております。ご了承下さい。